

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 7 月 7 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油貫流ボイラーから都市ガス貫流ボイラーへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0003
排出削減事業者名	山梨缶詰株式会社
排出削減共同実施事業者名	静岡瓦斯株式会社 株式会社三井住友銀行
事業実施場所	山梨缶詰株式会社(静岡県静岡市清水区興津中町 974 番地)
事業の概要	A 重油貫流ボイラー5 台のうち、2 台を高効率の都市ガス貫流ボイラーへ更新する。 ボイラーの更新で、燃料使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。 また、都市ガスに燃料転換することにより CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度 234 t CO2/年、2009 年度以降 434 t CO2/年 (事業実施期間合計 1970tCO2)
国内クレジット認証期間	事業開始日 2008 年 9 月 16 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	414tCO ₂ (2009年4月1日～2010年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、都市ガスボイラーが導入されていることを、現地視察の際に確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、当該期間に渡るエネルギー使用実績や関係者への質問により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画書通りであることは、第一回実績確認の際に確認済み。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、ボイラー毎の管理用ガスメーターの実測により実施されていることを確認した。 2) エネルギー使用量の計測値の記録・保存が、記録責任者の管理の下、正確性を維持するために通信データにより計測値が自動的に記録・保存されるシステムを利用していること、本データが正確に集計されていることをデータ集計表の確認や関係者への質問により確認した。 3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。

	4) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 37.5k1 であることを確認した。